

開館40周年記念特別展
「よみがえれ！シーボルトの日本博物館」
シーボルトが終焉の地 ミュンヘンに残したコレクションをとおし、民族学博物館の父とも呼べるシーボルトの日本博物館が150年ぶりによみがえります。
会期 8月10日(木)～10月10日(火)
会場 特別展示館



花鳥図衝立 ミュンヘン五大陸博物館蔵
©Museum Fünf Kontinente, Munich (MFK)

開館40周年記念 カナダ建国150周年記念企画展
「カナダ先住民の文化の力」
過去、現在、未来」
カナダは2017年に建国150周年を迎えました。同国と先住民との関係の変化に着目しながら、多様な先住民文化の歴史と現状、未来を紹介いたします。
会期 9月7日(木)～12月5日(火)
会場 本館企画展示場



ハイダの儀式、ポトラッチの様子(2006年8月撮影)

公開講演会
「メソアメリカとアンデスの古代文明と現在」
メソアメリカのテオティワカン文明とアンデスのナスカ文明を発掘調査する考古学者などが、最新の研究成果をもちより、古代アメリカ文明について議論します。
日時 7月1日(土) 14時～17時
(13時30分開場)
会場 本館第4セミナー室(定員50名)
※申込不要、参加無料、先着順

研究公演
「エチオピア高原の楽師アズマリの音楽とその世界的展開」
日時 8月7日(月) 13時30分～16時30分
(13時開場)
会場 本館第5セミナー室(定員80名)
出演 デレフ・デツサレイ
司会・解説 川瀬慈(本館准教授)
※要事前申込、参加無料(要展示観覧券)、先着順



みんなくミュージアムパートナーズ
「点字体験ワークショップ」
目で読む文字から手で読む文字へ、点字で異文化コミュニケーション！点字体験ワークショップを開催します。
日時 7月8日(土)12時～15時30分
会場 本館エントランスホール
※申込不要、参加無料

カレシジニアター
「地球探究紀行」
開館40周年にちなみ、本館展示の地域区分(12地域)ごとに、地球に暮らす人びとの多様な営みを紹介します。
時間 13時～14時30分
会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」
※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費1000円、定員各回50名
主催 産経新聞社
共催 近鉄文化サロン、スペース9
特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団
7月12日(水)
セネガルのガラス絵とその変遷
歴史と生活を記憶する
講師 三島禎子(本館准教授)
7月26日(水)
エチオピアの世界的展開
講師 川瀬慈(本館准教授)
お申し込み・お問い合わせ先
ウエブ産経カレシジニアター係
06-66333-9087

夏休み子どもワークショップ
「イスラームの人びとの衣装を知ろう」
「ワールドワークに挑戦！」
自由研究はみんなばくで解決！みんなばくで1日研究者になって「ワールドワーク」を体験してみよう。
日時 7月22日(土)10時30分～16時
(10時20分集合)
講師 菅瀬晶子(本館准教授)
ファシリテーター 冬木明里(本館技術補佐員)
会場 本館展示場
対象 小学4年生～6年生
※要事前申込(先着順/定員12名)、参加費500円

友の会講演会(大阪)
会場 本館第5セミナー室(定員96名)
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般5000円
第469回 8月5日(土)13時30分～14時40分
「みんなく名誉教授シリーズ」
民族学で解く千里ニュータウンと大阪万博
講師 中牧弘允(吹田市立博物館館長、本館名誉教授)
千里ニュータウンに暮らす住民は主に「一九六〇年代に「出オオサカ」を果たした都市民です。核家族が基本で「家」の観念は薄く、数百年の伝統を継承する村人とは異なる文化を形成してきました。このような千里丘陵における新旧の住民の文化的差異を比較し、一九七〇年の大阪万博がもつていた意味をかんがえます。また、大阪万博の遺産である万博公園が千里丘陵において果たしている役割についても考察を加えたいと思います。
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。
第470回 9月2日(土)
シーボルト父子が集めたアイヌ文化
講師 佐々木史郎(国立アイヌ民族博物館設立準備室 主幹、本館名誉教授)

みんなくゼミナール

時間 13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)
第470回7月15日(土)
ネパールの楽師カースト・ガンダルバの現在
講師 南真木人
(本館准教授)
弓奏楽器サランギを奏で、なりわいとしてきたガンダルバの人びと。ここ30年の間に、彼らの演奏活動や暮らしがいかに変化してきたのかを映像を交えてお話しし、ガンダルバの現在を考えます。



ガンダルバの次世代から生まれたラクシャ・バンド

みんなくウィークエンド・サロン

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(国)の最新情報「みんなく」の展示資料について分かりやすくお話しします。
7月2日(日)14時30分～15時15分 南アジア展示場
南アジアのクリケット文化
話者 三尾稔(本館准教授)
7月9日(日)14時30分～15時
ヨーロッパ展示場→アフリカ展示場
アイコンからガラス絵へ
話者 三島禎子(本館准教授)
7月16日(日)14時30分～15時 アメリカ展示場
チユルカナスのやまの
話者 齋藤晃(本館教授)
7月23日(日)14時30分～15時15分 東南アジア展示場
ジャワ島のガムランのリズム
話者 福岡正太(本館准教授)
7月30日(日)14時30分～15時15分 本館ナビひろば
タンデール—ワズベキスタンのパン焼き窯
話者 寺村裕史(本館助教)

刊行物紹介

■飯田卓編
『文化遺産と生きる』
臨川書店 4,000円(税別)



文化遺産は誰のものなのか？文化遺産を抱えるコミュニティとその担い手たちの視点に立ち、世界各国で加熱する文化現象の実態を描き出す。姉妹編『文明史のなかの文化遺産』に比べ、文化遺産研究者向けであり、無形文化遺産保護条約(2003年)以後に表面化してきた文化遺産の問題を論じている。本館の機関研究の成果を書籍化。

■飯田卓編
『文明史のなかの文化遺産』
臨川書店 4,000円(税別)



文化遺産は誰のものなのか？文化遺産を抱えるコミュニティとその担い手たちの視点に立ち、世界各国で加熱する文化現象の実態を描き出す。姉妹編『文化遺産と生きる』に比べ、文化人類学者向けであり、「文化とはそもそも何か」という疑問に答える章構成になっている。本館の機関研究の成果を書籍化。

友の会

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/ E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

東京講演会
会場 モンベル御徒町店4Fサロン
※要事前申込(定員60名)、会員無料、一般5000円
第119回 7月15日(土) 13時30分～14時40分
新館長就任記念！
文明の転換点における博物館
講師 吉田憲司(本館館長)
人類の文明は、いま、大きな転換点を迎えているように思われます。従来、それぞれ中心、周縁とされてきた人間集団のあいだに、創造的なものも破壊的なものも含めて、双方向的な接触と交錯が至る所起こるようになっていきました。それだけに、異なる文化を尊重しつつ、相互の違いを超えてともに生きる世界を築くための知が求められています。このような時代における博物館の役割についてお話しします。
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。